

令和8年度 滝頭地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—		
◆ 事業計画		
☐ 地域の現状と今後の方向性		
本地域は起伏の激しい地勢にあり、高齢者が地域ケアプラザへ来館するには物理的な負担が大きいことが課題である。また、地域包括ケアシステムの構築は初期段階にあり、さらなる連携の強化が求められている。 今後の方向性として、従来以上にアウトリーチ（出向く支援）を強化し、生活圏内での「顔の見える関係作り」を継続する。加えて、学校関係者等との連携を通じて生徒や保護者層への周知を広げ、地域全体で福祉を支える多世代交流の土壌を育む。広報誌やSNSなど情報発信を多様化し、潜在的なニーズの掘り起こしを図る。 さらに関係住民や区役所、区社協、介護保険事業所とのネットワークを強固にし、地域包括ケアシステムの構築に向けた基盤整備を力強く推進していく		
☐ 今年度の重点的な取組		
新規	継続	—具体的な取組内容—
☐	☒	「エンディングノートの書き方講座」や「ACP講座」を実施し、自身のこれからについて考える機会を提供する。また昨年同様、磯子地域ケアプラザと共催で成年後見講座を実施。地域サロンで、もしも手帳や横浜あんしん登録を案内する。
☐	☒	子育て事業には地域で子育てを支える担い手にも参画いただき、講師と連携しながら、参加者が抱える課題や気づきを共有する場を設ける。これにより、地域の中で安心して子育てができる環境づくりを進めるとともに、親子と地域とのつながりを育み、子育て家庭が気軽に交流・相談できる関係性の構築を目指す。
☐	☒	必要とされる資源、情報の可視化を行い、ニーズと情報のマッチングに力を入れていく。そのために今年度は紙ベースの情報冊子作成を目指す。同時にAyamuの更新やSNSを活用し、ICTを利用した情報提供の普及を行って、い多方面での情報を地域に届けて行きたい。
☒	☐	広く地域住民に対して認知症についての興味・関心を持って頂きたく、チームオレンジの事業として、地域住民と協力しながらオレンジのミサンガ作り目指せ100本を企画する。9月のアルツハイマーデー辺りで、作成したミサンガを大人数で着用する機会も設ける。
☐	☒	フレイル予防サポーター「花笑みの会」「はれやか」の2団体、男性ウォーキングサポーター「ダンディ倶楽部」が主体的に活動できるよう後方支援を行う。
◆ 事業報告・事業実績評価		
☐ 振り返り		
☐ 区からのコメント		